

〈目的〉 専門分野の研究活動の発展や変容の過程をそれぞれの専門分野のライフサイクルとみることがができる。裏返せば、ライフサイクルの観点から専門分野の動向をダイナミックに捉えることができる。科学のライフサイクルを定量的に把握し分析する方法には様々なものがあるが、困難なものが多い。しかし近年、コンピュータを利用した文献データベースシステムが容易に利用できるようになり、それを用いてライフサイクルを把握できるようになった。家政学以外の専門分野においては、すでにそのライフサイクルに関して議論されているが、本研究では、家政学の分野におけるライフサイクルの特徴を調べ、その研究活動の時間的推移の様相を検討する。

〈方法〉 本研究ではERICの中で主に学術論文を対象としたCIJEを用いて、家政学の分野のライフサイクルの分析を行なった。ERICには家政学に関係する論文が、他のデータベースに比べてより多く収録されている。また対象論文は、'HOME ECONOMICS'及びその関連語をキーワードとしてもつ論文とした。対象期間は16年から1983年の15年間である。

〈結果〉 分析の結果、家政学における諸領域のライフサイクルパタンの様々な特徴が明らかになった。またそれらの時間的相互関係についてもいくつかの知見が得られた。今後データベースを用いてさらに分析を進めることによって、家政学の分野における研究活動の促進や研究資源の適切な配分などをはかるための基礎となる、実証的研究を行なうことができると思われる。